

企業の広告掲載が保護犬猫の支援に！ 動物保護活動を支えるSNS『AnimaPick』が4周年

4周年を記念し、社会貢献に関心を持つ企業の参加を後押しするキャンペーンを実施します。



概要

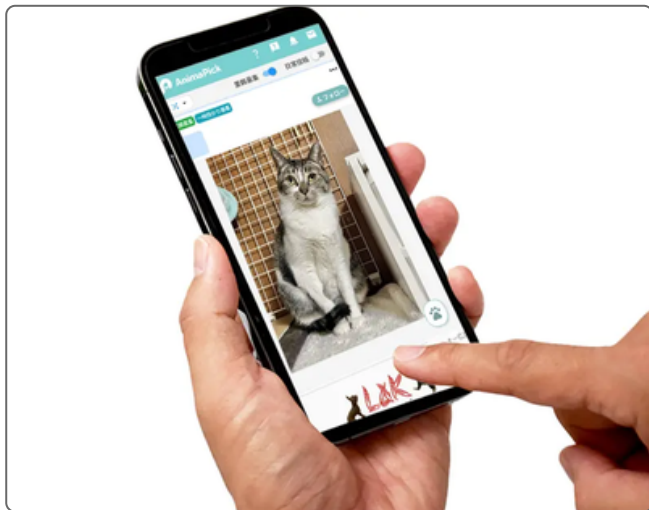
株式会社Author（大阪市、代表取締役：圓尾将隆）が運営する「AnimaPick」は、寄付ではなく“広告費”を原資に保護活動を支援する動物専用SNSです。広告はユーザー投稿と並んで掲載され、掲載費の一部が「ポイント」として投稿主に還元されます。貯まったポイントは、活動資金やギフトカード、企業が出品した商品などと交換できます。AnimaPickに参加している保護活動者はすべて運営の審査を通過しています。企業は「パートナー」として参加することで、広告を掲載でき、手軽に動物保護支援に参加できます。この度、サービス4周年を記念して、初期の制作負担を抑えるための「広告無料制作サポート」を期間限定で実施しています。

社会問題

環境省のデータでは、犬猫の殺処分数は約20年で約39万頭 → 9,017頭へと大幅に減少しています（出典：環境省〔2023年度〕）。しかし現場では寄付の減少や飼育放棄の増加、物価高の影響が続き、資金面の不安定さが課題です。寄付に依存しすぎない支援の仕組みが必要とされています。

CSRで 動物保護

上記の課題に対し、AnimaPickは個人の善意に依存しない仕組みを実装しました。企業の日常的な事業活動である広告を支援へ接続することで、寄付に頼らない継続的な支援を実現しています。これは、企業が事業活動において社会・環境への配慮を組み込み、ステークホルダーに対して責任を果たす「CSR」の実践そのものです。参加企業（パートナー）には広告掲載による支援だけでなく、支援実績レポートを毎月お届けするため、社内外に向けたCSR活動の発信も手軽に行うことができます。



誰もが 保護活動を

多くの消費者が、企業の社会的責任を重視しています（第一生命保険の調査）。一方で、中小企業では人手と予算の制約が取り組みの壁になりやすいのが実情です。（東京財団の調査）。

AnimaPickは、1日あたり約180円の費用でパートナーに参加できるため、「想いはあるがリソース不足で動けない」というジレンマを解消し、支援への一歩を実現します。

さらに今回、より参加しやすくするために、広告の無料制作キャンペーンを実施します。

- 対象：AnimaPickへの参加を希望する企業・個人事業主・店舗オーナー
- 内容：掲載する広告の制作を無料でサポート
- 申込期限：2025年12月31日まで

活動の きっかけ

コロナ禍に動物の殺処分問題を知ったシステムエンジニアの代表は、ボランティア活動を通じて、家族を待つ犬猫や休みなく働くスタッフなど、保護施設の過酷な実情を目にしました。

当初は保護団体に寄付をしたり、ボランティアをしていましたが、その活動の中で見つけた『保護活動の周知』『資金不足の解消』という課題を解決するために、AnimaPickを立ち上げました。

これまでの 歩み

- ・ 2020年12月20日：クラウドファンディングを実施し、プロジェクトを始動。
- ・ 2021年11月22日：Webアプリを公開。
- ・ 2024年5月1日：スマホアプリを公開。
- ・ 保護活動者（団体＋個人）：リリース時40 → 現在129（2025年10月末時点）
- ・ 累計支援額：1,049,712円（2025年10月末時点）

お問い合わせ

<運営会社>

会社名：株式会社Author

代表者：代表取締役 圓尾将隆

所在地：大阪府大阪市北区梅田1丁目2-2 大阪駅前第2ビル 12-12

<お問い合わせ先>

AnimaPick運営事務局

Email：media@animapick.com

Instagram：https://www.instagram.com/animapick/